

ふるさとだより

2024年6月

社会福祉法人 聖フランシスコ会

ふるさとの家

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋3-1-10

Tel 06-6641-8273

Fax 06-6641-8215

〔郵便振替 00930-2-50858〕

E-mail: cs-furusato@jasmine.ocn.ne.jp



ふるさとの家を支援してくださる皆様へ

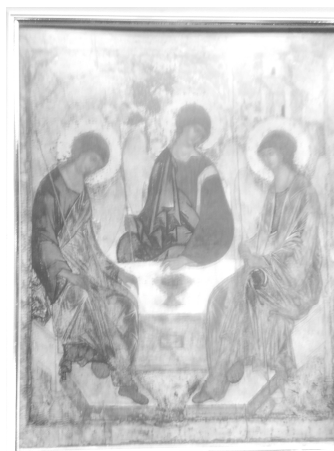
5月に教会では三つの祝日がありました。

まず主の昇天。その時イエスはこう言われました。「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ 28:20) 私はふるさとの家の支援者の姿を見る度に、そのイエスの言葉を思い出します。支援している皆さんの中にイエスの姿を見ます。昨年3月16日に亡くなったハインリヒ神父様もふるさとの家を通してイエスの言葉を胸に刻み困っている人を助けたイエスの姿を見ていました。

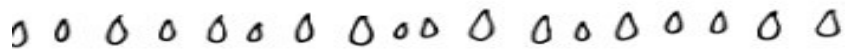
もう一つの祝日、聖霊降臨。ふるさとの家を支援している皆さんにイエスの働きが見えるようになりました。皆さんの上にイエスの霊が注がれ、奉仕の気持が一人ひとりの心に起こりました。

三つ目の記念日は三位一体です。あまり親しみがない 祝日ですが、中世期のイコンが表すように、天のお父様と御子イエスを霊的に聖霊に結ばれて食卓を囲まれています。よく見ると手前の四番目の席が空いています。そこにふるさとの家の支援者が座っています。神様が私たち、特にホームレスの皆さんにその席を用意して下さっています。祈りましょう。三位一体である神様の誘いを受けましょう。自分のことを忘れても困っている人を思い出させて下さい。

ルカ ホルスティンク



談話室より



最近のボヤキ

マーコ

淀川に紛れ込んで亡くなったクジラのよどちゃん。その処理費用をめぐって市議会で問題になり市民に明らかになる。すぐに処理をする必要があり予算が後付けになったことで少々の金額の差が生じるのは仕方がない。にしても3月初旬に大阪市が見積もった予算約3400万円が3月末に約8000万円になった。概算、詳細が間違っていたわけではなく特殊な作業だということや、担当者の同僚への恫喝とともとれる会話、会食等で云々。桁違いの予算がこうも簡単に増額できるのかとあきれる。額もさることながら、この決定過程などが音声にきちんと残っている。まあ当たり前にある記録を世間に出したということ。なにせ役所には情報公開法があり市民が知りたい情報を公開請求できる仕組みがある。最近は行っていないが釜ヶ崎での施策がどういう話し合いを経て決定されたのかと何回も公開請求したことがある。公開請求してもまず「情報提供」と言う後から作る都合のいい説明、出ても「黒塗り、存在しない、音声もない」とけんもほろろ……。自分たちに火の粉が降りかかりそうになったら出てくるんですか。音声もちゃんととってるし、出せば出せるじゃないですか……

一方、コロナ禍以降クラスターやパンデミック等々聞きなれない単語、最近ではインボイス制度やステルス増税等々と何を言ってるのか分からない言葉が次々と出てくる。「あの意味わかる？」と人に聞こうと思った時には言葉が出て来ず……。そしてまた分からない言葉がとエンドレス。思考停止であきらめてしまい、国や行政の思惑通り、マスコミもしかりで国民はおいてけぼりをくらう。子育て支援、減税、と言ってるけど確実に生活は大変になっています。



相談室から

お米ひとにぎり

古賀 詩子

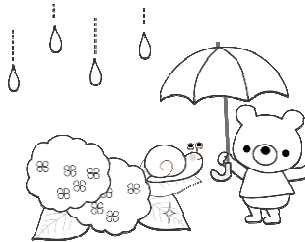
いつも皆様のご支援、本当にありがとうございます。今回はある小学校の「お米ひとにぎり運動」について書きたいと思います。

小学校で生徒が集めたひとにぎりのお米を集めて、炊き出しのために、大きな箱2箱くらいを毎月送ってくれます。以前、学校の方から、子供たちが集めたお米の行先について話をしてほしい、との依頼があり、学校にお邪魔しました。炊き出しの準備から、おっちゃんたちに配るところを可能な限り写真にとって、子供たちに見せました。大きなお釜や沢山並んだどんぶりばちの写真を興味深そうに見てくれました。ひとり一人が感想を書いてくれ、「困っている人たちの助けになっていてうれしい。これからは頑張ろうと思います」などの言葉がありました。そしてその後、また学校に遊びに行く機会があり、一人の1年生の男の子が先生に付き添われて、とても恥ずかしそうに「…おじいちゃんが作ったお米…」と、袋に入ったひとにぎりの大切なお米を直接私に手渡ししてくれました。なんと可愛い！！それぞれの持ってきてくれるお米

に、物語があることを感じました。ひとり一人が少しずつもってきて…というところも聖書のパンの奇跡を思い出しました。

また、熊本県のJ病院は毎年、まだスイカが出回ってもいない珍しい時期に大きなスイカを送ってくださいます。初物なので、おっちゃんたちは今年も大変喜んで食べていました。病院も社会的貢献をされており大変な中、釜ヶ崎のおっちゃんのことを考えてくださって、本当にありがたいです。

皆さまひとり一人のご支援にも物語があり、他者を思う素晴らしい心を感じさせてくださいます。ひっそりと神様の願いが実現しているのを見させていただいている思いです。



生まれてきた意味「もう一回人の役にたたい」

堀部 敬子

近くの公園で小屋を作り野宿されていた0さんは特別清掃で生活をし、夕方はふるさとの家のラーメン部屋をピカピカにしてくれ、空いている時間は、公園のゴミ拾い、草抜きをし、生活されていました。1番の楽しみは、筋トレと読書、銭湯と洗濯も大好き。しかし、どうしても家族と連絡を取るために部屋に住むことになりました。この時にふるさとの家が15,6年前に住民票取り寄せを手伝った方人だったことが判明し、生活保護の申請の時は本名で行いました。部屋では、お気に入りの花瓶に花一輪をかかさず生け、壁にはこんな文字が貼られています。「知・仁・勇」「鉄身仏心」

数年前、事情があり家を出て、いろいろ大変で自分にとって最悪の時、自殺を図った事があり、「なかなか自分で死ぬのは難しい、腹刺したけど、そら痛い、痛い痛い、死なれへん」と。それから生きることを決め、野宿をしながらも墓参りは欠かさず生活されて来ました。

数年前、小屋の前で本を読んでいると、後ろから通りがかりの2人連れが0さんをたたいて走り去った時、しばらくするともう一人の青年がたたいた若者を連れ、謝りに来たそうです。その日「今日こんなことがあってな…あの子もストレスたまってたんやろな」と話してくれました。どんな時も、何気に気持ちの落とし処を見せてくれます。

現在、食道に癌が見つかり入院中ですが、「もう1回人の役に立ちたい」と、しんどい治療を受け入れ、頑張っておられます。この記事を書いていい？とたずねると、「あーええよ。あっ、人が生まれてきた意味は、善を積むためや。その事を書いてほしい」と言われました。

今ふるさとの家に韓国の青年が大学で学びながらボランティアに来てくれています。入院中の0さんに会い、話を聞かせてくれる約束をしました。「自分の親一世たちが一番苦労した事、自分の苦労なんか苦労の内に入らん。」0さん、彼のノートをあなたの話で一杯にしてあげて下さい。大きな仕事が待っています。がんばれ！



生活保護の現状

嶋田 ミカ

物価の上昇が止まらない。2024 年 4 月現在の消費者物価指数は前年同月比 2.5% 上昇。2020 年を 100 として 107.7 となっている。そんな経済状況の中、生活保護の人たちは厳しい状態に追い込まれている。

本来、生活保護は、憲法 25 条の生存権「健康で文化的な最低限度の生活」を、無差別平等に保障するための制度である。しかし生活保護に対する偏見は恥という意識は強く、「年金より高い」「怠け者」「パチンコやめろ」などの生活保護バッシングが横行している。

特にマスコミをにぎわすのは不正受給だ。暴力団関係者が受給してたとか、有名人の家族が…とか、預金があるのに…等々。しかし実際の不正受給は全体のわずか 0.29% に過ぎない。

一方、生活保護は本当に困っている人に届いているのかを示す捕捉率を見ると、2-4 割程度にとどまる。すなわち困窮者の 6-8 割が生存権侵害された違憲状態で放置されていることは話題にもならない。ちなみにフランスの捕捉率は 139.4%、ドイツは 100%、イギリス 61.8% と日本の低さは際立っている。

物価高騰以前から安倍政権によって 2013~15 年間に段階的に引き下げられ、生活保護基準は平均 6.5%、最大 10% 以上引き下げ、利用世帯の 96% が影響を受けた。高齢者単身世帯では、2004 年 93,850 円から 2020 年 70,900 円 25% 減らされた。2022 年の見直しでは物価高騰を考慮しての据え置きにとどまる。

物価が上がっても生活保護費は上がらない。この影響は受給者の生活を直撃している。居宅訪問に行くと猛暑の時期でもクーラーを使っていない人によく出会うようになった。聞けば「電気代が高い」「そんなに熱くないから」という。部屋の中はムツとして、すぐに汗が噴き出してくる。「熱中症になるからクーラーつけた方がいいよ」と言っても「大丈夫、大丈夫」という返事。

冬になると、暖房費がもったいないと、体中に使い捨てカイロを張って寝て低温やけどしたとか、ペットボトルを湯たんぽ代わりにしてお湯が噴き出したとか、ちょっと間違えば大事故に、という事例も耳にする。

部屋に行くとカップや袋のラーメンばかり積んである人も多い。ごはんを炊いてラーメンライスにするという。「野菜やたんぱく質も取らないと」と言うと、「スーパー玉出のおかずも前はなんでも 100 円で買ったのに、今は 150 円もするから、めったに買えんわ」お金がないというなら、それ以上かける言葉もない。

今年の 6 月からは家庭向けの電気料金は、関電でなんと 40% 以上値上げされるという。熱中症で亡くなる人が出ないように、祈るのみである。

ボランティア紹介

渡部（わたなべ）さん ボランティア徳田恵さんのお母さんです。恵さんの話でこの街に興味を持ち、恵さんがカナダに留学された後、仕事の休みの日に来てくれます。、スタッフの食事作り、食料品の片づけ、居宅訪問などしてもらっています。

水路のイルカ



三十年以上前、大学生の頃横浜の寿町というドヤ街でよくバイトをしていました。当時、私はロックだバンドだなどと言って長髪にしていました。お陰であまり雇ってくれる所も無く、日雇いのバイトをすることが多かったです。髪型の事などとやかく言われることなく、朝早いだけで我慢すれば大体仕事にありつけ、昼飯付きが殆どだったのでそれもありがたかったのを覚えています。なんとなく性に合うのかしょっちゅう日雇いにいっていました。そんなこともあり、知り合いもできて、飯をおごってもらったり、仕事紹介してもらったり、可愛がってもらっていました。皆優しくったんですね。いろんな事情があって、性格も人それぞれでしたが、とにかく、おっちゃん(労働者)たちが優しくったです。そんな中、港で仕事をしていた時です。水路にイルカが迷い込んでいて、ちょっとした騒ぎになり、私も見に行きました。弱って元氣のないイルカを可哀そうだと思いつつも一抹の寂しさを感じていました。横にいたおっちゃんがイルカを覗き込みながら「俺たちと同じだ」ぼつりと言いました。応えようのない寂しさを感じたのを覚えています。その言葉が耳に残り、その後、度々思い出していました。

三十年以上の月日がたち、ふるさとの家の手伝いをさせてもらうことになり、また、おっちゃん達の近くにいる機会を与えてもらいました。雑用などをしながら過ごしていますが、いろんなシーンに出会います。特に印象的な事が二つあります。一つは、ある方がおそらく初めて来た方に「腹へってないか？パン食べへんか？」といってパンを差し出していました。それだけの事なのですが、優しいな、中々できないよなと思いつつ、30年前に感じたあの優しさと同じだ、懐かしさと共に、そう感じました。もう一つが詰め所(石鹼や剃刀をわたす場所)に座っていた時、ある方が「タバコあるか？」と言ってきました。私は「タバコは誕生会の時しか配ってないですよ」と答えました。当然そうだし、タバコはおいてないのだからそう言ったわけですが、別の方が、自分のタバコをずっと差し出しました。特に知り合いというわけでもなさそうでしたが、自然に差し出している姿を見て、自分のタバコをあげればよかったのかなと、後悔というか恥ずかしいというかそんな気持ちにさせられました。綺麗ごとを言いながら、身が伴わない自分がいるのを感じました。

ここにいる人達って優しいんですよね。勿論、人にもよるのですが、とにかく優しい。しかも、絶妙な間合いで優しいんです。ベタベタと相手の事を詮索せず、困っている時、必要な時さりげなくなにかをする。酸いも甘いも経験してきた人達と言ったら失礼になるかもしれないが、寂しさとか苦しみとかを知っており、自分の内にも秘めている。だからこそできる優しさのような気がします。三十年前。私が感じた優しさと同じ、そして、変わっていない。そう感じました。私は今、修道院に入っていますが、何か、こういう優しい人間になりたいくて入ったんですね。自分はまだまだだと思います。修行修行・・・

水路のイルカを見て、「俺たちと同じだ」つぶやいたあのおっちゃん、優しい人だったんだろうな・・・優しい人たちは今もいます。

フランシスコ会 ヨセフ杉浦信之

この4月より新しいスタッフになったマリアさんを紹介します。



皆さんこんにちは。

私は聖ヴィンセンシオ ア パオロの愛徳姉妹会、ベトナム人のシスターマリア・ランです。今年の4月上旬、埼玉から大阪の聖ヨセフハウスにきました。現在、この「ふるさとの家」で働いています。

1990年に日本に来ました。家族はベトナム南部に住んでいます。1975年に首都サイゴンが陥落した後、勝利した共産党員たちが南部に侵攻してきました。私の兄弟たちは南共和国政権の兵士として働いたので、投獄されました。私は大学が終わりでしたが、家族が共和国軍と関係があったため、仕事をするのを政府が許しませんでしたから、ボートピープルとして国外逃亡して、日本に来たのです。私は国際救援センターで日本語を勉強して、東京の電機会社就職しました。数年後、家族がアメリカに住んでいたのを留学を申請し、ビザを待っている間、石川神父からあかつきの村で精神的に苦しむベトナム人ボートピープルを助けるよう誘われました。私は数ヶ月だけボランティアとして活動するつもりでしたが、病人の世話をすることに幸せを感じました。3か月後、私は日本に残ることを決意し、アメリカに留学することを辞めました。母と家族は非常に怒っていました。しかし、私はこれら一連の出来事は、神が私を愛徳姉妹会に呼ばれた道のりだったと思っています。8年間の会での修練の後、最初の誓願を立て、埼玉教区や日本の他の場所でベトナム人の共同体で奉仕しました。

ふるさとの家での新しい仕事は私にとって、とても新鮮です。毎日出会う野宿者の人びと、一人暮らしの困窮している人たちのために料理をしたり、孤独なお年寄りを訪ねたり。談話室のカウンターで、マスク、ビニール袋、洗濯洗剤、衣類などの必要な品を受け取りに来る人たちに挨拶をしたり、健康状態について尋ねたりすることがよくあります。私の挨拶を聞くと話しかけてくる人もいます。会話はとても短いですが、私にとってはとても興味深いです。私がベトナム人であると知った男性は、ベトナムに3ヶ月旅行したことがあると言って、ベトナム語で挨拶してくれて、料理の名前も覚えていて、とても嬉しかったです。

Tさんは80歳を超えていますが、この年齢になっても「まだ20代、30代と同じくらい若いので、人生にはまだ希望がある」とおっしゃっていました。ある日、彼は足を痛めた男性に付き添って、お茶を飲み談話室へ来ました。Tさんは親切にお茶を汲んであげたり、気遣ってあげたりしているのを見て、「あなたはとても親切ですね。」と言ったら彼の顔は明るくなり、「はい、誰も私にそんなことは言ってくれませんでした」と答えました。ここで労働者の人々と一緒にいて、私を仲間に入れてくれていると感じて毎日幸せを感じます。私にとってこの仕事は新鮮な事ばかりです。私の仕事にはまだ、足りない点が多くありますが、皆さんはいつも私に寛大です。談話室に来る人たちはいつも私に注意を払ってくれます。時々、誰かが私に向かって声を荒げると、多くの人が私を守るためにその人を部屋から出します。とても感動しました。出会いと存在を許してくれた神に感謝します。

事務室より

☆ 2023 年度会計報告

(2023 年 4 月 1 日~2024 年 3 月 30 日)

単位：円

収 入 の 部		支 出 の 部	
寄付金	27,763,115	人件費	13,080,808
受取利息	596	活動費	4,974,061
雑収入	1,073,012	資金収支差額	10,781,854
合計	28,836,723	合計	28,836,732



雑収入：バザー売上 売電

人件費：常勤 2、非常勤 3

活動費：事業費（保健衛生費、教養娯楽費、水道光熱費等）

事務費（ボランティア交通費、通信費、消耗品費等）

★寄付金控除について

社会福祉法人聖フランシスコ会ふるさとの家への寄付金は所得税、相続税の寄付金控除や法人税の損金算入など税制上の特別措置が認められています。なお、以下の点にご注意ください。

- ・当法人は、「税額控除対象法人」に該当していません。

- ・当該寄付金は、各都道府県が指定する寄付金に該当しませんので、住民税での寄付金控除対象外です。

詳細は国税庁のホームページ (<http://www.nta.go.jp>) でご覧いただけます(寄付金の種類（所得税）の方には公益社団法人等寄付金と記入いただき、寄付金の種類（住民税）は空欄でお出してください)。

※寄付金控除を受けるためには確定申告時に「領収書」が必要です。大切に保管していただくようお願いいたします。

★お願い

2022 年 1 月よりゆうちょの振込手数料が変わりました。

* ゆうちょ口座からゆうちょ口座への振込→手数料はかかりません。

* 振込用紙を使って現金で振り込む場合→送金者にも 110 円の手数料がかかることになりました（ので、お手数ですが窓口で送金額より手数料 110 円を引いてもらった額をお振込み下さい）。

ふるさとの家で必要なもの



特に不足しているもの 靴下(男物)・かみそり・ライター (共に使いきり用)

石けん (大・小)・タオル・割りばし・使いきりマスク

●男性用の衣類(季節のものを) ・肌着 (パンツ・シャツ、新品を)

●お菓子 (誕生会に) ●お茶・コーヒー・クリーム・砂糖

●インスタントラーメン・缶詰・レトルト食品・防災食

●絆創膏 (バンドエイド)・綿棒・ガーゼ ●洗剤 (洗濯・食器用)

●大きめの紙袋・買い物袋 ●雨具 (カッパ・傘)

●運動靴(スニーカー24~26cm)、大きいカバン・リュック

●毛布・寝袋 (10月~3月の間のみ、きれいなもの。布団は使えません)、カイロ

注意

※ 食品は賞味期限内のものだけをお願いいたします。

布団、背広・コート・カッターシャツ、女性衣類、子ども衣類、季節に合っていない衣類、汚れていたり破れていて人に渡せないような衣類は、使えませんのでくれぐれもご注意ください。

その他、保管場所がありませんので、負担になるものはご遠慮ください。

支援をお願いして申し訳ありませんが、**荷物に現金を入れないでください。郵便振替でお願いします。**

以下、釜ヶ崎の仕事と生活をかちとる会の炊き出しと連帯しています。ご支援をお願いします。

三角公園の炊き出しで使うもの

お米、調味料、日持ちのする野菜、乾物など

* 送り先 557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 3-1-9

Tel 06-6641-0069 愛徳姉妹会 sr鮫島まで

* 礼状が必要な時はふるさとの家にお送りください



☆荷物についてのお願い☆

「日曜・祝日・隔週土曜日」は、ふるさとの家の休みとなっています。

宅急便などで荷物をお送りいただく際には、月曜から金曜の午前12~午後5時までに届くように、お願いします。